

眼科

診療科のご紹介

眼科で最も多く手術している疾患は白内障です。入院手術が基本ですが、外来での日帰り手術も対応しています。

患者さんの希望に合わせて手術日を決定します。通常 2~3 ヶ月先の予約です。手術日が決まれば、それに合わせて入退院日を決めます。その後白内障手術のための眼科検査を行います。局所麻酔ですので、身体に対する負担は少ないです。しかし、患者さんは、基本的にある程度高齢なので胸部レントゲン、心電図、血液検査もします。検査終了後再び診察室に入り、説明書と承諾書をお渡しします。その後入院受付に回って何時頃入院してもらうか、どんな物を持ってきてもらうかなど説明します。忙しいですが、ここまですめば次回病院に来てもらうのは入院当日です。

日帰り手術の場合、入院手続はありませんが、手術時に用いる眼内レンズ(人工水晶体)の度数をあらかじめ決めるために、後日一度外来受診していただきます。

入院当日は看護師と医師が説明します。目の細菌の数を減らすための点眼を開始します。また、眼内レンズの度数を決める検査をします。

翌日は手術の 2 時間前から手術用の点眼を開始します。手術室内では手術室担当の看護師が準備します。局所麻酔なので、できるだけリラックスして手術を受けていただけるよう、会話をしながら進めていきます。実際の手術時間は早くて 10 分、ゆっくりする場合で 20 分程度ですが準備や後始末の時間で、手術室内には約 40 分入ります。術後 2 時間安静にした後は起きていただいて結構です。手術翌日まで眼帯をしますが、片方の目は開いていますから付き添いは不要です。(片方の目が失明やほとんど視力が無い方は、術後 2 時間で眼帯をはずします。)

手術翌日の診察後眼帯をはずします。点眼・内服・点滴治療が始まります。片眼の場合術後 2 日目に退院します。退院後 1 週間から 10 日目に外来受診していただき経過良好なら、紹介していただいた眼科へ逆紹介します。

診療科の対象疾患

屈折異常(遠視・近視・乱視)、斜視・弱視、外眼部(まぶたやまつげ、涙に関するところ)、結膜、角膜、水晶体、ぶどう膜(虹彩・毛様体・脈絡膜)、網膜、視神経

主に外来でおこなう手術

1. 眼瞼: 麦粒腫切開術、霰粒腫摘出術、眼瞼内反症手術
2. 涙道: 涙道ブジー、涙点プラグ挿入術(重症ドライアイ)

3. 結膜・角膜：翼状片切除術
4. 水晶体：白内障手術（日帰り）
YAGレーザー後発切開術（白内障術後後発白内障）
5. 緑内障：レーザー隅角形成術、レーザー虹彩切開術
6. 網膜：網膜光凝固術（網膜裂孔・網膜中心静脈閉塞症・糖尿病網膜症等）
トリアムシノロンテノン嚢内注射（黄斑浮腫）

主に入院でおこなう手術

1. 水晶体：白内障手術
2. 緑内障：線維柱帯切除術、周辺虹彩切除術
3. 網膜剥離：網膜復位術

取り扱っていない疾患や治療

- 近視矯正手術
- 増殖糖尿病網膜症等に対する硝子体手術
- 加齢性黄斑変性症に対する光線力学療法

診療科で対象とする症状

視力障害、視野異常、充血、流涙、眼脂、異物感、眼痛等目に関わる症状全般。